

1. 教育基本方針

「つよく ただしく のびのびと」をモットーに、心身ともに調和のとれた健全な子どもの育成を教育目標として、保護者・職員が関わりを深め、園児が楽しい園生活を送る中で成長を促す。

2. 本年度の重点的目標

- ① 心身ともに健康な生活を送り、基本的生活習慣を身につける
- ② 一人ひとりの個性を大切にし、人間性豊かな想像力を育てる
- ③ 正しいことは勇気をもってやりぬく実行力を育てる
- ④ 思いやりをもって、だれとでもなかよく遊べるやさしさを育てる
- ⑤ 社会に貢献する人格の形成をめざす

3. 評価項目の達成及び今後の課題

※評価 A；よくあてはまる B；ややあてはまる C；あまりあてはまらない D；まったくあてはまらない Eわからない

評価項目	① 「健康」
目標	安全に気をつけて楽しんで体を動かして遊ぶ（外遊び・課内体育指導等）
評価	【A】
自己評価	・事前指導を毎回行うことで子ども自身が気をつけながら遊んでいた。 ・事前に約束を確認することを徹底し、自ら安全に遊ぶ姿が見られた。 ・園庭が広くないので全学年一緒に出ると遊びが制限される。しかし、1日1回以上戸外で遊ぶ習慣がついている。課内保育（体育）は2週間に1回だが縄跳び、鉄棒、跳び箱など色々なことに挑戦している。 ・教員は教室、園庭などで活動している間は目を切らすことなく園児の様子を見ており、子どもたちは安心・安全な環境で十分に体を動かし、夢中になり遊んでいる。 ・戸外へ出て遊ぶクラスが多く、のびのびとしていた。 ・遊具にぶつかったり坂になっている箇所です勢いをつけて走ることで転がってしまうことがあった。
次年度の改善	今年度の取り組みを継続して行い、園児が自らの体験を生かして安全に気を付けることが未然防止につながると理解できるようにする。「健康」や「安全」に関して保育環境を整える中で、園児に「健康」で「安全」な生活を送る意識をつける。
評価項目	② 「人間関係」
目標	お友達と仲良く遊び、お友達に優しくできる
評価	【A】
自己評価	・一人遊びから友だちへ興味を持ち、関わっていく変化が見られた。そこには担任や周りの先生の声がけの効果があった。

	・お並びや自由遊び、ホームクラスで異年齢のお友だちと遊ぶなどクラスでも思いやりをもって仲良く過ごす姿が見られた。 ・一人遊びから友だちへ興味を持ち、関わっていく変化が見られた。そこには担任や周りの先生の声がけの効果があった。 ・人権教育について意識を高く持っている教員が多いので、思いやり、認め合いなど自分も相手も大切にすることができる園児が多く優しい声がけができる。 ・自分の意見や思いを伝えられるよう成長することでもめる場面もよく見かけました。
次年度の改善	自己評価は「あてはまる」と答えた教員が70%以上なのでの昨年度の改善点を踏まえて取り組んでいた結果となる。（【B】から【A】へ改善）引き続き、相手のことを思いやり、認め合い励ましあえる仲間づくりなどを身につけ、次の課題として言葉での伝え方で良好な人間関係や社会生活における望ましい習慣や態度を身につけるなども取り組んでいく。
評価項目	③「環境」
目標	身の周りのさまざまな物や自然に興味と好奇心をもって関わる
評価	【B】
自己評価	・季節の移り変わりを園庭で感じたり月刊誌を通して学んでいたりする姿があった。月刊誌に掲載されていたものと幼稚園の様子を結び付けて考えるだけでなく、家での生活と結び付けて考えられるようになった。その中でも興味のあるものは図鑑や動画も繰り返し見ている姿があった。 ・ちゅうりっぷを育てたり季節の制作をしたり積極的に様々なものに興味をもっていたと思う。
次年度の改善	園庭にある植物や昆虫に興味を持ち、友だちと一緒に見つけたり観察したりする時間を十分に取、引き続き、自然への興味関心を持たせる。
評価項目	④「言葉」
目標	自分の伝えたいことを自分の言葉で伝え、相手の話をしっかり聞く（普段の会話・課内英語指導等）
評価	【B】
自己評価	・クラスに補助の先生がいることで何かあった時もゆっくり傾聴し、子ども達も安心して自分の言葉で話をしている。 ・様々な行事や人との関りを通して、相手の話を聞く姿勢を身に着けることができたが、普段の会話の中では最後まで話を聞くことが難しい場面もあった。 ・自分の思いを言葉で伝えることができたが、聞く時の態度が遊びの延長線上になってしまうことがあった。 ・1年を通して聞く姿勢を身につけられたと思う。話す側の伝え方や相手の気持ちを汲み取れる助言や援助をする教諭の姿が見られた。 ・「セイハで学ぼう」はあまり興味をもって取り組むことが少なく感じた。1年間を通して何が話せるようになったのか見えにくい気がする。

次年度の改善	昨年度の改善にある指導項目（人の話を聞き、正しい言葉を獲得できる）について手応えを感じている教員は半数以上おり、日々の保育を充実させていた。今後は園児が「話し手の方を見て聞く」など主体的に取り組むことができるように指導していく。 ＊課内英語指導「セイハ」について 英語の指導が2つあるため、R9年度より「サム先生の英語で遊ぼう」の英語指導のみを行うことを決定。（以前、学校評価委員会で英語を1本化してはどうかの要望も考慮。）
評価項目	⑤「表現」
目標	自ら楽しんで音楽や制作などの活動をする（歌・楽器・絵画・ものづくりなど）
評価	【A】
自己評価	・毎月様々な歌を歌い、年長児などは専門の教師はいないが学年の先生を中心に鼓笛隊の指導をしている。 ・歌やものづくりの好きな園児がとても多い。 ・音楽や制作活動が好きな子どもが多く、行事前には意欲的に練習に取り組む姿が見られた。 ・楽しんで取り組むことができた。 ・行事を通して、他児との協力や積み上げていく楽しさや達成感を味わう姿が見られた。 ・表現活動を主体的に取り組んでいる園児がほとんどで、1年間の成長はめざましい。 ・「先生が見本としたものをみんなで作る」というカリキュラムが多く「主体的」な子どもの育ちには繋がりにくいように感じる。
次年度の改善	音楽表現活動やものづくりなど卒園までに様々な学習をすることで創造力も豊かになり積極的に取り組んでいる反面、自ら考え主体的に取り組むに関しては教師主導型になっている保育設定もある。今後は園児が主体的に取り組めるカリキュラムを作成するなどの保育指導改善をめざす。
評価項目	⑥「教職員の資質向上」
目標	望ましい教職員の子どもへの関わり
評価	【B】
自己評価	・補助の先生がいるので、何かあってもじっくりと子どもたちと向き合うことができる。 ・子ども達の話をしっかり聞いて、子どもの気持ちを受け止め、子どもが納得できるまできっちりと関わる先生が多い。 ・子ども達の普段の様子を見ながら、活動内容を考えたり目標に沿った関りをしたりするように心がけていたが時間がない時などは心の余裕がなくなり、落ちついた関りができていないこともあったので気を付けていきたい。 ・研修を生かして子ども達と関わることができた。 ・子どもたちの関りの中で必要な傾聴、語彙力を高めていく。 ・子ども理解はもちろんのこと保護者の声、地域の声もきちんと聴ける教員が多い。 ・リフレクションを大事にしている教師が多いので子どもとの関りの中で生かされている。 ・高圧的な言い方や「〇〇しないと〇〇できないよ」などの声かけがある。

次年度の改善	子ども達に安心感を与える保育をめざし、コンプライアンス意識、人権意識を高く持ち、子どもと関わる。引き続き、自己の課題に見合った研修による自己研鑽や保育日誌での振り返り、保育改善に努め、笑顔を絶やさず保育を進める
評価項目	⑦「保護者との連携」
目標	幼稚園と保護者が協力して子どもを育てる
評価	【B】
自己評価	・行事があるたびにお手伝いをしてくださる。異なる学年でも子どもたちの様子を把握し、保護者の方と共有している。 ・園の様々な行事に保護者がたくさん協力してくださっていて、園での子どもの様子を担任は常に保護者に伝えて情報共有している。 ・送迎時などに園児の家での様子を保護者と共有して、悩みや課題に合わせた関りをすることができた。一方で、なかなか会えない保護者とは細かいやりとりができなかった。 ・園での様子などもう少し伝えることができたらよかった。自分自身も話しかけられやすい雰囲気をつくるように心掛ける。 ・保護者の方の温かいサポートのおかげで園生活、園行事が円滑に行うことができたと思えます。 ・保護者や地域の方が「教員の挨拶がとても気持ちの良い挨拶をしてくれている。」と言われ、「あいさつ」を大事にしている『繋がる幼稚園』（保護者と教員、保護者と保護者）だと感じる。 ・保護者の方の行事に対するサポートが手厚いので子どもたちが楽しく行事に参加していると思う。 ・子どものために必要なことを保護者と話し合えた。
次年度の改善	昨年度に比べ、わずかの差でポイントが下がり「B」評価となった理由として、教職員から積極的に情報共有できなかったと感じている意見があった。それ以外は様々な行事で保護者の意見も取り入れ、協力を依頼することで幼稚園との協力体制がしっかりできている手応えを感じている教職員がほとんどであった。今後は行事以外の日々の送迎時などに時間を作り保護者と情報共有や課題についての話をするなどやり取りができるようにしていく。

4. 総合的な評価結果

総合評価	自己評価
【B】	新制度への移行期間に伴い、様々な改善に努めた。教員の保育改善を強化するため積極的な研修への参加や日々の保育設定の見直しなど自己の振り返りを行い、学年会や担任会などで情報共有を行った。その結果、たくさんの行事、日々の保育活動を通して子ども達も大きく成長した手応えを感じることができた。他にも、異年齢集団での「たてわり活動」などの取り組みにより、次年度へ繋げることができた。また、新制度移行に向けて、危機管理マニュアル、保健衛生管理マニュアルや生活安全年間計画など見直しを図り、子どもが安心安全に園生活を送ることができるよう努めた。

	次年度の改善 令和８年度より「施設給付型」幼稚園として新制度を導入。引き続き、教職員がワンチームとなり、子どもの安心安全を守る園づくりをめざし、より良い成長を促す保育改善に努める。また、ソフト面、ハード面ともに変革できるように学院本部と連携し、より良い環境をつくる。 子どもが主体的に学ぶ保育を充実させるために毎日の保育日誌を刷新。「ねらい」と「保育設定」が正対しているか、日々のリフレクションについてポイントを外さずに書き込み、学年で共有できているかなどきめ細やかな指導をめざし保育改善に努める。 園の情報をより一層、保護者、地域に情報発信できるようにホームページや Instagram を活用し理解・協力を得る。
--	--

5. 学校関係者評価

○朝陽幼稚園の先生は園児の皆さんを一人一人よく見ており保護者への気遣いも決して忘れず、いつも明るく元気で仕事に励んでいる人たちばかりです。保護者会会長を務めた身としては、戸惑っている私に対して多大なるご支援を頂いた。

○卒園した兄、在園の子どももこちらの幼稚園で本当に良かったと思っている。先生方はご自身のクラスだけでなく、全園児の名前を把握しており、保護者の顔をも子どもも一致しているのでとても安心感がある。

○毎日、子どもに園生活を聞くと子ども同士の関わり、担任、補助の先生、ホームクラスの先生の話を楽しそうにしてくれる。先生方に安心感があるのだと思う。

○送迎時に先生がそれぞれの保護者に園での様子をしっかりと伝えてくれるのを見て、手厚いサポートだと思う。

○毎月、小さなイベントから大きなイベントまで季節に応じたイベントがあり、その都度準備をしてくれるので感謝している。保護者は楽しみにしているが先生の負担にならないように省略できるポイントがあれば、幼稚園と保護者で相談できたらと思う。

○「教職員の資質」につき、高く評価すべきであると考えます。どの先生も愛情深く子どもと向き合い、子どもをよく褒めて、苦手なことも前向きに挑戦できるように見守ってくれた。また、「保護者の連携」についても明るく挨拶をしてくれるので担任だけでなくいろいろな先生が子どもの様子を報告してくれたので安心して登園させることができた。

○施設は清潔感があり毎日、丁寧に掃除されているため気持ちよく過ごせる。

○園庭は広くないが様々な樹木や生き物も見つけることができ自然を感じられる。時間を見つけては外で遊ばせてもらい、先生方は見守るだけではなく一緒に遊んで関わり、十分に楽しめる環境づくりがされている。

○先生方は現状に満足することなく、日々子ども達のために何ができるかを考えてくれている。どの先生温かく子ども達一人一人に寄り添ってくれる姿が印象的。

○保護者との風通しもよく相談や提案に対して真摯に対応してくれるので信頼、安心感がある。

●個人的には英語の課内指導がなくなってしまうのは残念に思う。英語は話せるに越したことはないが1年ぐらいでは難しい。それよりも幼少の頃から少しで英語に慣れる、英語耳を育てる英語に触れるという経験が大切かなと思う。

●改善点として、冬の給食の時冷たいのかな？と思うので温かいごはんやスープなどがあればより良いのでは？

【学校関係者評価委員会構成】

評価委員長 ； 朝陽幼稚園保護者会会長

評価委員 ； 保護者会役員

以上